

2023.11.4

3日、国会正門前で開かれた「つぼろ 憲法をいかに未来へ憲法大行動。憲法改悪（安保3文書、沖縄、辺野古新基地建設、マイナ保強硬）など国政の集約についてアビーチヤリレートークが行われました。

国会前 憲法大行動



「憲法を守ろう」と訴える人たちは3日、国会正門前

「生きる礎」次代へ

東京女学院大学の斎藤小百合教授（憲法学）は、岸田首相は戦争でたがいが必らずと、このへ、武力によって他者を支配しようとするのは、日本国憲法の価値の対極にあるものだと批判。「異なる多様な私たちがともに生きていく礎が憲法です。なんとしても次世代に引き継いでいきたい」と語りました。

日本体育大学の清水雅彦教授（憲法学）は、軍事費を国内総生産（GDP）比で今後世界第2位にするなど、安保3文書のため、自衛隊は従来の政府解任からも明かできないと指摘。外交努力こそが必須だと強調し、「岸田首相は私たちの声を聞かさない。野田と市民と野党の共同で政権交代を促さう」と呼びかけました。沖縄県を離れ、辺野古の米軍新基地建設をめぐって、県の代理人を務める加藤裕典士は、「代執行訴訟に勝つてきました。地方自治法に基づいて解決に向けた対話を求める知事を目指す野田政権を許さるわけが

ない」とべ、社会を変え、国会を変え、野古に決着をつけるたがいが必らずと訴えました。「選挙の権利」を求め、大體あやまらんは、内外の反対を押し切った東京電力福島第一原発事故の水素水（アル）の住友重工業は、このと訴えました。

愚かな争い孫たちにさせぬ

政治や社会への思いをアビールする取り組みが3日、国会正門前であります。市民約200人が集まり、「戦争はダメ！」と書かれたラカードなどを掲げました。呼びかけ人として作家の澤地久枝さんは、軍拡を進める岸田文雄首相について、「どんな戦争前後の方向に向かっている。自分たちは正しいことをしているか」と批判しました。澤田さんは、ますます政治が悪くなれば、待っているのは戦争です。そんならいまうよ、頑張ってくださいよ」と呼びかけました。参加者は拍手でこ



たえませんでした。「太平洋戦争で、叔父が戦死した」という鈴木美代子さん（88）は、「（戦後から）戦争はバナナを愛する」と言われたことも忘れません。鈴木さんは、回戦争では食料もなく餓死した兵士が多かったと述べ、「戦争は愚かな行為。悪徳な戦争を孫たちにさせたくない」と語りました。